



沖田 ゆかり 議員

### Q コロナ禍での子育て支援の強化を

A 〈町長〉  
支援が必要な家庭へ相談員が訪問している。

〔Q1〕 乳幼児医療費の助成拡大については、2年後の令和5年に中学3年生までの拡大を検討したいとのことだが、コロナ禍で医療費の負担が増えているのにコロナが収束してから手を打つのでは遅いのではないか。

〔A1〕 少し検討させていただきたい。



〔Q2〕 乳幼児医療費受給者証の更新については、役場窓口に来庁しなくても手続きができるような取り組みをされているのか。

〔Q4〕 支援ニーズの高い子どもを見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するべきでは。



〔A2〕 令和3年1月からは自動更新に切り替えている。

〔Q3〕 児童虐待相談対応件数は、

〔A3〕 令和元年度が36件、令和2年度が64件と2倍近く増えている。

〔A4〕 学校や保育所との連携を強化していく。

### Q 〈沖田 ゆかり 議員〉 コロナ禍での母子保健の機能強化を

A 〈町長〉  
保健師が丁寧な面談を心がけ、不安の解消に努めている。

〔Q1〕 海田町や坂町では、不育症治療費を1年度あたり30万円を上限として助成されている。熊野町においても取り組んでいただけませんか。

〔A1〕 調査し考えていく。

〔Q2〕 国では多胎児を妊娠された方へ妊婦健康診査の費用を補助する制度の創設を検討されており熊野町においても取り組んでいただけませんか。

〔A2〕 制度改正も併せて研究していく。



〔Q3〕 産前産後ヘルパー派遣事業についてのコロナ禍での支援は。

〔A3〕 令和2年5月から、通常一回につき千円の利用料を、県の補助金を活用し一回500円にしている。



〔Q4〕 産後ケア事業については利用できる施設が安佐南区の助産院のみとなっていたため、熊野町から利用しやすい場所の施設を要望していたが検討されたのか。

〔A4〕 令和3年度は3か所増やして合計4か所対応できるよう協議している。

### 健康福祉



民法 正則 議員

### Q 新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた取り組みは

A 〈町長〉  
円滑な接種に向けて準備を進めている。

〔Q1〕 ワクチン接種の開始時期、接種場所、スケジュールは。

〔A1〕 接種は、国からのワクチンの配分を受けて開始する。接種会場は、集団接種の場合は町民会館を中心に行い、ワクチンの配分量によっては、高齢者施設の入所者への接種や各医療機関での個別接種を先行する。スケジュールは、高齢者、基礎疾患を有する方や高齢者施設の従事者、一般の方の順となる。

〔Q2〕 かかりつけ医が町外の場合は、集団接種で受けることになるのか。

〔A2〕 基本的には、町内の医療機関が集団での接種となる。基礎疾患がある方は、特例として

住所地以外のかかりつけ医でも接種できる。

〔Q3〕 接種希望者が集中した場合の対策は。

〔A3〕 希望者は必ず接種できるということを周知し、円滑な接種への協力をお願いする。

〔Q4〕 接種券を発送する際に、接種場所、接種時期もお知らせできるのか。

〔A4〕 確定していればお知らせしたい。ホームページや広報への掲載、郵送でのお知らせも考えている。ご不明な点や、ご不安な点があれば、コールセンターにお問い合わせいただきたい。

### 道路交通

### Q 熊野トンネル無料化後の状況は

A 〈町長〉  
広島熊野道路や県道矢野安浦線の矢野峠での混乱はなく、町民の利便性が向上した。

〔Q1〕 無料化後、通行車両の増加状況や周辺の環境変化は。

〔A1〕 矢野安浦線では6割減少の1万1700台、広島熊野道路は2倍の1万5800台で、交通量合計は変化がない。騒音や排気ガス等の環境への大きな影響もない。町内での朝夕の渋滞には今後も注視していく。

〔Q2〕 豪雨災害後の復旧工事の影響か、大型車両の増加がみられるがトンネル内の排気ガス換気はどうか。

〔A2〕 大型車両の混入の割合は3%程増加しているが、車両の性能の向上や、自然換気が可能という結果があり問題

ないと伺っている。

〔Q3〕 平谷交差点の直進車線の増加や町内の交差点改良により渋滞が解消されるのでは。

〔A3〕 平谷交差点では、一時的なピークはあるが大きな混乱は生じていない。町内の渋滞箇所を含めて、今後の交差点の交通状況を注視していく。

〔Q4〕 4月に大型商業施設が開店するが、郵便局前の交差点の状況は。

〔A4〕 信号機の設置は進んでおり、右折レーンも確保される。矢印の付いた信号で極力スムーズな流れを阻害しない構造になると考えている。



山野千佳子 議員